

アフリカの子どもたちの未来の話をしよう!  
ケニアのキベラスラムとマサイの村から

～早川千晶さんとジャクソン&永松夫妻を迎えて～

日時 10月28日(土) 13:00～14:30

会場 AER(アエル)1F アトリウム  
〒980-0021 仙台市青葉区中央 1-3-1

参加 事前申し込み不要

アフリカケニア35年在住の早川千晶さんは、貧困地区キベラスラムで孤児や困窮児童のための学校を作り、運営しています。また、伝統生活を送るマサイ族のジャクソン・オレナレイヨ・セイヨさん夫妻は、2012年ジャクソン教育基金(MJEF)を立ち上げ、地域の子どもたちの未来のための活動を行っています。

三人からケニアの子どもたちの現状や未来についてお話させていただきます。



早川千晶さん



ジャクソン・永松夫妻



ジャクソン・永松夫妻

ユニセフ募金報告

2022年1月～12月：宮城県ユニセフ協会預り

2022年に宮城県ユニセフ協会へ寄せられた募金は、**32,019,347**円でした。

<一般募金>

仙台市立加茂小学校、仙台市立台原中学校、仙台市立八幡小学校、石巻市立石巻中学校、石巻市立渡波中学校、多賀城市立多賀城中学校、仙台市立錦ヶ丘小学校、石巻市立鹿妻小学校、仙台市立秋保中学校、大崎市立古川中学校福祉委員会、富谷市立明石台小学校、仙台南高等学校協学会、塩釜市立玉川小学校、仙台市立幸町南小学校、石巻市立貞山小学校児童会、(私)聖ドミニコ学院小学校、(私)南光紫陽幼稚園、角田市立枝野小学校、(株)河北新報社、みやぎ生活協同組合、単電気(株)、(株)豊栄堂印刷所、クローバー学園、大学生協事業連合東北地区

<緊急募金>

みやぎ生活協同組合、宮城県保険医協会、仙台東高等学校、宮城第一労働組合みやぎ生協支部、白石市立白石中学校生徒会、山田乳業(株)、仙台市立東宮城野小学校、みやぎ憲法九条の会、名取九条の会、鶴ヶ谷地域九条の会、利府町立青山小学校、(私)仙台南高等学校協学会第2学年、加美町立小野田中学校、クローバー学園洋裁教室



クローバー学園洋裁教室のみなさんがウクライナ募金を届けてくださいました。

他にも、多くの個人のみなさまから温かいご支援をいただきました。ありがとうございました。

宮城県ユニセフ協会

月～金 9:30～16:00  
土・日・祝日は休み

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協文化会館ウイズ  
Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945  
E-mail:sn.municef\_miyagi@todock.coop  
URL https://www.unicef-miyagi.gr.jp



郵便局(ゆうちょ銀行)ユニセフ募金口座のご案内

振替口座：00190-5-31000  
加入者名：公益財団法人日本ユニセフ協会  
通信欄に「K1-040 宮城県ユニセフ協会」と記入  
※窓口からの送金は手数料がかかります

# UNICEF NEWS in みやぎ

unicef  
for every child

2023.7 Vol.95

## 危機の発生から1年。 ウクライナの子どもたちは 今も苦しみの中にいます。

2022年2月24日に武力紛争が激化した東欧のウクライナ。その後わずか数ヶ月間で国土は急激に荒廃し、子どもの3人に2人が家を失うという、世界でも最大規模の避難民危機となりました。子どもたちは今なお暴力、トラウマ、喪失感、破壊、避難の苦しみに耐えています。780万人の子どもたちはこの1年間、遊びや学校での思い出、友人や家族との時間を奪われたのです。さらに、発電所の4割が破壊されるなど、命を支える最低限の社会サービスさえ持続的に利用できなくなり、ウクライナの子どもたちは今この瞬間も人道支援を必要としています。



©UNICEF/UN0760153/Pashkina  
東部ハルキウの地下にあるスピルノ・チャイルド・スポットに集まった子どもたち。おもちゃや色鉛筆、ゲームなどが置かれている。(ウクライナ、2022年12月24日撮影)

## トルコ・シリア地震 人道支援を要する子ども、両国で620万人

トルコの被災地で暮らす脆弱な立場にいる子どもたちは、暴力、強制結婚や強制労働、中途退学などの脅威にさらされています。35万人以上の難民・移民の子どもたちを含め、400万人近い就学中の子どもたちの教育が中断されました。トルコでは近年、こうしたリスクは軽減していましたが、地震の影響により、その成果が後退する可能性があります。

シリアでは、12年間続いている紛争により、あらゆるインフラや公共サービスに影響が出ており、子どもたちはすでに苦境に立たされていました。2月の大地震はこれをさらに悪化させ、学校、ヘルスケア、その他の必要不可欠なインフラにさらなる被害をもたらしています。推定190万人の子どもたちの教育が中断され、信じられないほど困難な状況で生活し続けており、また、上下水道インフラへの深刻な被害により、650万人がコレラを含む水系感染症の高いリスクにさらされています。

ユニセフのラッセル事務局長は、「復興への道りは長く、家族には私たちの継続的な支援が必要です。食料品やエネルギー価格の高騰、生活手段の消失やサービスへのアクセスの喪失など、この災害の長期的な影響は、何十万人もの子どもたちをより深刻な貧困状態に追い込むことになるでしょう。緊急および長期的な復興計画の一環として、これらの子どもたちや家族への経済的支援と必要不可欠なサービスの提供が最優先にされない限り、子どもたちは搾取や虐待の危険にさらされ続けることになります」と述べています。

ユニセフの子どもたちのための活動は、みなさまのご寄付に支えられております。自然災害・紛争・飢餓など、危機的状況にある地域には長期的な支援が必要です。どうぞ引き続き、子どもたちと家族に心をお寄せいただけますよう、お願い申し上げます。(日本ユニセフ協会ホームページより)



©UNICEF/UN0806114/Karacan  
カフラマンマラシュにある避難所で、飲み水を受け取った男の子たち。(トルコ、2023年3月撮影)



©UNICEF/UN0827964/Fricke  
北西部のイドリブにあるユニセフが支援する公式の学校で、授業を受ける子どもたち。続く紛争や地震の影響で避難した子どもたちに、教育や心理社会的支援を提供している。(シリア、2023年4月1日撮影)

緊急募金にご協力をお願いします。ゆうちょ銀行

振替口座：00190-5-31000(窓口の場合手数料免除) 口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会  
通信欄に「ウクライナ」「コロナ」「アフリカ」など明記してください。  
明記がない場合は一般募金になります。  
※振込用紙を希望される方は宮城県ユニセフ協会にご連絡ください。

ユニセフ映画上映会 & 講演会

「荒野に希望の灯をともし〜  
医師・中村哲 現地活動 35年の軌跡〜」を開催しました。

日時: 6月4日(土) 14:00 ~ 16:00  
会場: せんだいメディアテーク7F スタジオシアター  
講演: 谷津賢二さん (監督・カメラマン)  
参加人数: 165人



中村医師(右)と谷津賢二氏

カメラマンの谷津賢二さんをお迎えして中村哲医師が35年にわたり、アフガニスタンとパキスタンで医療支援や用水路建設など、現地住民の生活を支え続けた活動を知り、国際支援活動について考える機会として開催しました。

**感想** 武器を持って戦うのではなく、人に寄り添って行くことの大切さを学びました。

谷津監督の「自然にも人格がある」「人と自然の和解」が心に響き、自分ができることを行おうと考えることが出来ました。

夏休みユニセフ教室 ~外国コイン仕分けボランティア体験~

日時: 7月30日(土) 10:00 ~ 12:00  
会場: みやぎ生協文化会館ウイズ  
参加: 6組15人  
仕分けた外国コインの額: 345,618円  
バザー募金額: 12,496円



2022 夏休みユニセフ教室

**感想** 今日仕分けた外国コインが世界中の子どもたちのためになると思うと、コイン一枚一枚がとても重要なものだと感じました。

ユニセフの活動が少し身近に感じました。もっと沢山のの人にユニセフの活動を知ってもらいたいです。

2022年その他の活動

◆宮城県との共催で「子どもの権利に関するパネル展」を開催しました。

2022年5月23日~5月27日  
「ポリオのない世界へ」「長谷部誠大使がたどるワクチンの旅」

◆ユニセフ学習会、出前講座など

- 1月 宮城県古川高等学校来訪
- 1月 名取市ゆりが丘小学校6年
- 6月 仙台市立荒巻小学校4年
- 9月 富谷市立富谷第二中学校3年大崎市立古川中学校福祉委員会来訪
- 11月 宮城県古川高等学校来訪(2グループ)
- 12月 聖ドミニコ学院小学校1~3年、4~6年



荒巻小学校(2022年6月)

◆ボランティア学習会

- 3月 (兵庫県ユニセフ協会主催) 浜田進士講演会「子どもがまん中」(オンライン)
- 4月 国際理解学習会「東ティモールでのユニセフ支援活動現地視察報告会」講師: 松木弥恵さん
- 6月 2022年度学習講師研修会(オンライン)
- 9月 国際理解学習会「ラオス・スペイン・アメリカについて学びましょう」講師: 宮城県国際化協会
- 10月 国際理解学習会「ラオスの食文化を学びましょう」講師: チッパソン・スワブッタさん
- 11月 【研修】子どもの安全保障(チャイルドセーフガーディング)

春休みユニセフ教室 & 外国コイン仕分けボランティア体験会を開催しました。

日時: 3月25日(土)  
10:00~12:00  
会場: みやぎ生協文化会館ウイズ  
参加人数: 6組16人

感想

世界にはごはんを食べられない人がいることを学んだのがよかった。ユニセフで支援していることを改めて知ることができた。

栄養食などは少しのお金で支援できることがわかって、たくさん支援したいと思いました。



宮城県との共催で「子どもの権利に関するパネル展」を開催しました。

会場: 宮城県庁1階ロビー  
期間: 5月29日(月)~6月2日(金)  
展示パネル: アグネス大使ウクライナ訪問  
忘れられた紛争 ~光の当たらない子どもたち~  
2018年6月にアグネス・チャンユニセフ・アジア親善大使がウクライナ東部を訪問した時のものです。



ユニセフ映画上映会を開催しました。

日時: 6月24日(土)  
14:00~15:20  
会場: せんだいメディアテーク7階スタジオシアター  
参加人数: 150人



これからの活動

夏休みユニセフ教室 & 外国コイン仕分けボランティア体験会

●日時: 7月29日(土)10:00~12:00 ●会場: みやぎ生協文化会館ウイズ ●募集: 6組15人程度

ユニセフ写真展

●4~6月、10~12月 ●みやぎ生協文化会館ウイズ(4~6月「子どもの権利条約」)

ユニセフ学習会・出前授業

※学習会・出前授業を希望する方は宮城県ユニセフ協会まで